

お知らせ



国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

平成26年10月24日

資料提供先

岡山県政記者クラブ

岡山市政記者クラブ

百間川分流部の改築へ向けて 歴史的遺構の保全方法を決定します。 ～安全安心な川づくりと歴史的遺構の保全に向けて～

百間川は、江戸時代に造成された放水路で、先人の考案・築造した河川に改修を加えることで、現在も岡山市街地を洪水から守っています。

国により昭和40年代より進めてきた百間川の大規模な改修は、最下流端の河口水門が完成を目前に控え、分流部の改築を残すのみとなります。

岡山河川事務所では、これまで、有識者や地域のみなさまのご意見を伺いながら安心・安全な川づくりと、歴史的な石積みの構造物である一の荒手、二の荒手の保全の両立を目指してきました。過去の検討の結果、一の荒手については、歴史的遺構を保全しながら、洪水時でも計画で定められた流量を百間川への分流させることが可能となる形状を確認しております。

歴史的遺構の保全と共に分流部の治水機能を継承する具体的な保全方法及び施設構造等のとりまとめを行うにあたり「百間川分流部保全方策検討委員会」を設置し、有識者のご助言を頂いているところです。

一の荒手巻石部の保全方法については、第2回において補強して保全する方法にて概ね了解をいただいています。

第3回（平成26年5月26日）の試掘現地確認を受けて、[このたび、以下の日程で第4回百間川分流部保全方策検討委員会を開催し、背割堤の暗渠・水制状石積及び二の荒手の保存・保全方法（案）について、有識者の方々にご助言を頂きます。](#)

日時：平成26年10月30日（木） 14:00～16:00

場所：岡山県青年館 2階 大ホール 岡山市北区津島東1-4-1（別紙位置図参照）

※委員会は公開ですが、傍聴者席の座席数に限りがあり先着順となりますのでご了承ください。

※会議の報道等撮影は別紙 議事次第の「2. 議事」開始までとさせていただきます。

□問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 086-223-5101（代表）

岡山河川事務所 副 所 長 ^{かわしま}川島 ^{あきまさ}明昌（内線 205）

調査設計課長 ^{にこ}児子 ^{しんや}真也（内線 351）

別紙

百間川分流部保全方策検討委員会 組織

委員名簿

氏名	所属	分野
稲田 孝司	岡山大学名誉教授	文化財
樋口 輝久	岡山大学大学院環境生命科学研究科 准教授	土木遺産
前野 詩朗	岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授	河川工学
万城 あき	(公財)岡山県郷土文化財団 主任研究員	郷土史

(敬称略 五十音順)

オブザーバー名簿

役職	氏名
岡山県 教育庁文化財課長	山田 寛人

(敬称略)

第4回 百間川分流部保全方策検討委員会

議 事 次 第 (案)

日時 平成26年10月30日(木)
午後2時～午後4時
場所 岡山県青年館 大ホール

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 第2回、第3回委員会の検討内容整理及び議事要旨整理
- (2) 背割堤暗渠，水制状石積みの保存方法(案)
- (3) 二の荒手の保存・保全方法(案)
- (4) 百間川分流部改築計画平面図(案)

3. 閉 会

位置図

会場
岡山県青年館 大ホール



岡山県青年館

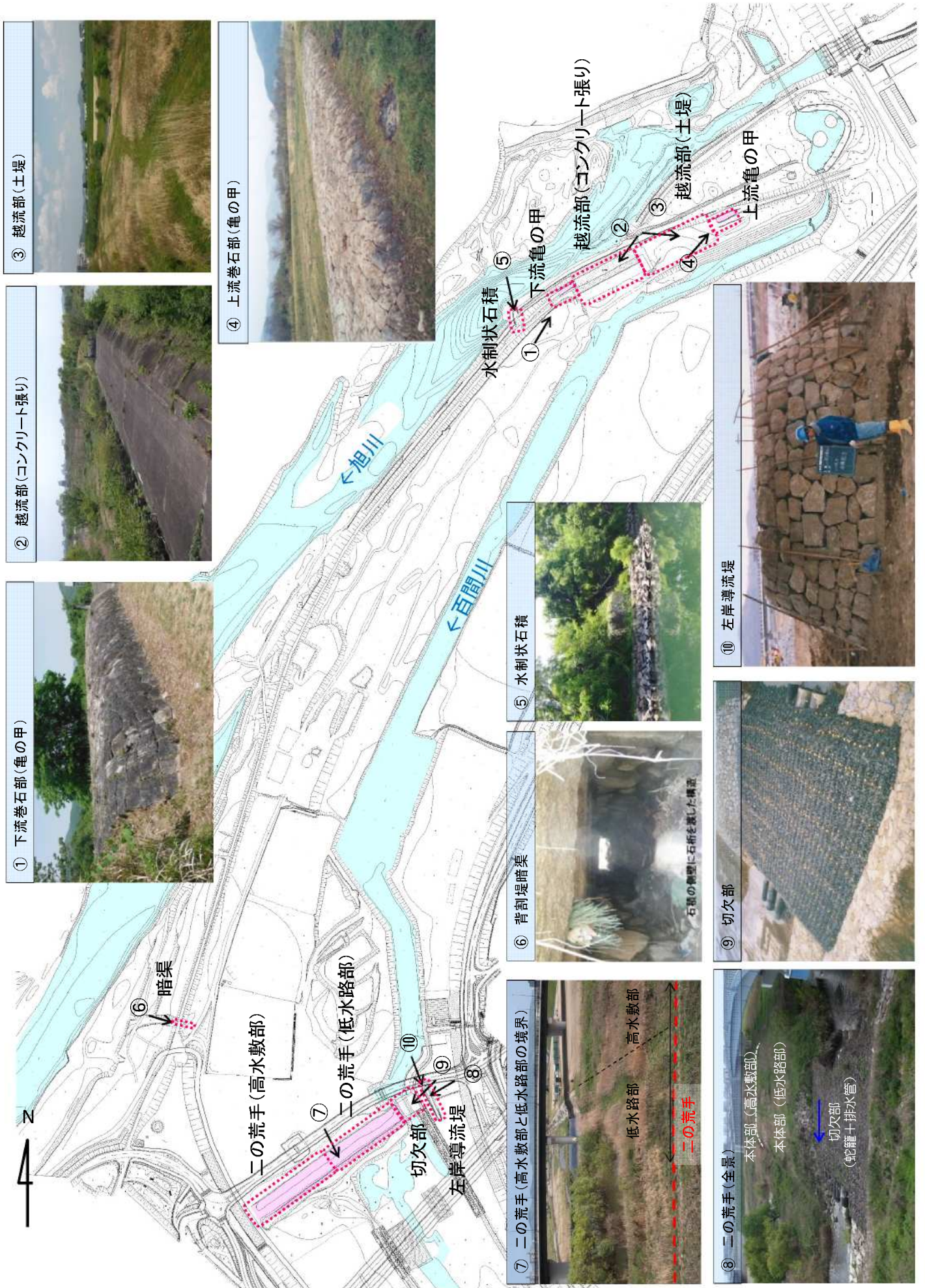
〒700-0081 岡山市北区津島東1丁目4-1

TEL/086-254-7722 FAX/086-254-7724

【お車でお越しの方】

利用者無料駐車場が30台ございます。

百間川分流部周辺施設位置図



参考：百間川分流部改築の概要 歴史について

- 百間川分流部は、江戸時代に岡山城下の洪水被害軽減等を目的に熊沢蕃山が越流堤防により流水を東南へ吐かす「川除けの法」を考案しました。
- その後、貞享3年(1686年)、津田永忠により堤や荒手を備えた放水路が築造され、一定量を越えた旭川の水が荒手堤を越えて百間川側へ放出させ、城下を洪水から守る仕組みを実現させました。
- 三段(3ヶ所)の荒手により水勢を弱めながら旭川の洪水を下流に越流・放水させます。
- 二の荒手、三の荒手は洪水時の土砂溜め機能を有していました。(三の荒手は明治25年洪水で流出し現存しません。)

分流部三段の荒手のしくみ

旭川の水量が増加

「一の荒手」を越流

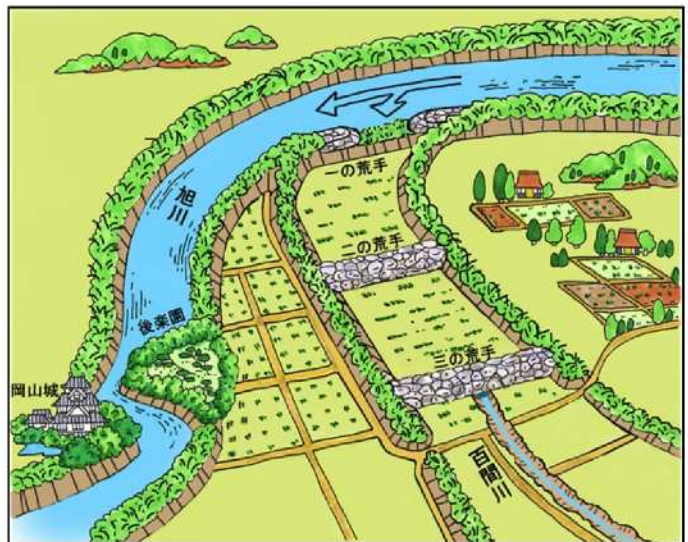
「一の荒手」と「二の荒手」の間に貯留され土砂を沈殿

さらに水量が増加

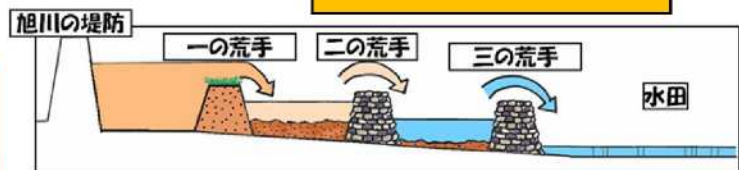
「二の荒手」、「三の荒手」を超えて百間川に流入

【荒手の効果】

- ・洪水の流れる速度を抑制
- ・砂の流出を抑制



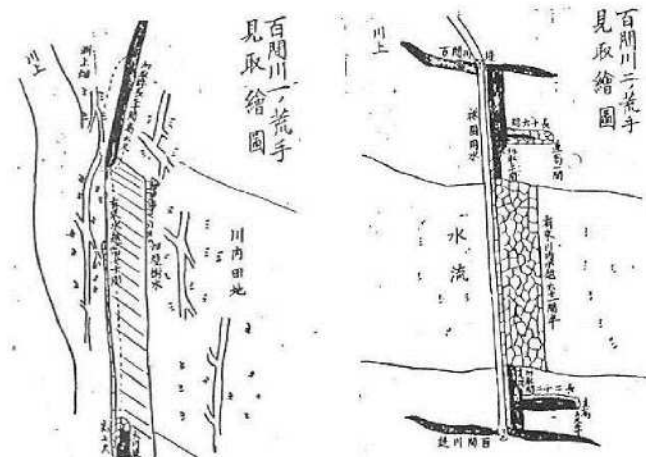
三の荒手は現存せず



歴史的遺構

一の荒手、二の荒手は、江戸時代に百間川と合わせて築造された貴重な歴史的遺構であり、二の荒手は文化財として、発掘調査等も行われています。

これらの分流部の歴史的遺構は、学識者や地域住民等で構成される協議会において、保全活用の提言が出されています。



1814年(文化11年)に作成された
一の荒手・二の荒手の見取り絵図

出典：百間川改修誌 岡山河川工事事務所